


だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2016年
11月

135号

一乗 佛

席仁


一仏乗：まっすぐに仏を目指す
誰でも仏になれる

宗教法人 真生会

真生会の教えとは！

仏さまの智慧と

仏さまのものの見方を身に付け

自分の運命を変える

在家の法華経教団です。

宗旨宗派は問いません。

どなたでも安心してお越し下さい。

◇どの家庭も毎日が楽しく

ぬくもりと安心のある家庭になる

◇だれでも毎日がイキイキとし

ありのままに輝く自分になれる

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（人みな仏の子）

開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁
た なか ひで ひと

積善の家に余慶ありの諺は理解できても、日常生活において、何が積善になっているのか、積悪になっているのか見境もつかず、善い事だと思っても、案外人から批判されたり悪口を言われてがっかりすることがあります。

俗に「正直者は馬鹿を見る」と言いますが、相手の立場も考えず、自分の理論理屈を通すのは正直者ではありません。己に力無きと知ったら、如何なる事があるうとも忍ぶ人が正直な人であり、常に相手の立場から物事を考え、事を運ぶ人こそ、仏さま即ち大自然から眺めた正直者であります。

この世の中は自分ひとりの力では生きられません。多くの人

の恩恵によつて、自分が今生かされている事を忘れてはなりません。凡夫の私達は自分が正しいと考えて一方通行を主張するが為、自ら人生に行き詰り、他からも頑固である、わからず屋と嫌われ、最後孤独の淋しさに泣くのです。

商人ならお客様の立場を考え、勤め人なら上司の意を汲み取り、子供なら親の心を察し、親なら子供の立場を考えて生活をすれば、いかなる世相の中にも平和と希望に満ちた日々が訪れてくるのです。

末法の世ともなりますと人心じんしんが乱れ、地獄の沙汰も金次第と考え、人が泣こうがわめこうが金中心で生きる人が増えてきました。また、この世の中は学歴であり、権力地位が無ければならぬと遮しゃ二無む二人を押しつけ、蹴散けちらして進む人が多いのです。

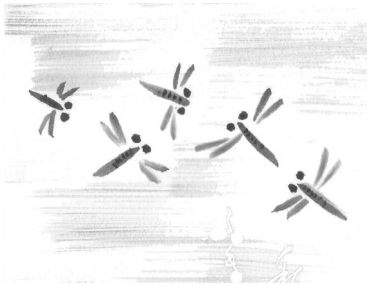
このような努力も一時的には栄えますが、人の妬うらみや憎しみを多く受けている人ほど、金や権力、学問ではどうにもならぬ難問題を抱え、もだえ苦しみ早晚家運は傾いていくのです。

昔から「親苦勞して、子樂して、孫子の代は乞食こじきかな」と言いますが、余程の徳が積めていない限り、三代目はおろか自分一代で悲しい老後を迎えてしまいます。貯めたお金や勝ち得た地位権力に無理があり、人に与えた悪念悪業の結果によるものです。

「人に喜びを与えなさい。徳を積みなさい」そうすれば、いかなる悪業も消え、幸福は求めずともやって来ます。

死んだ人の魂を亡霊と言ひ、生きている人の魂を生霊せいれいと言ひます。私達は亡霊と生霊の想いの中に生かされているのです。だから、故人の生前中に仲良くお付き合ひの出来ていた人は、常に亡霊に守られるのは当然であります。

また生きている人と常に円満な交わりのある人は、いざという非常時にも必ず人の親切に守られるのは当然であります。



ぶし眞教法話

会長 田中 庸仁
たなか つねひと

◇幸せを入れる徳の器

器の大きさに応じて、中に入る量は変わります。大きな器にはたくさん入り、小さな器には少ししか入りません。小学生でもわかる当然の真理です。

世の中には器の大きい人と器の小さい人がいます。何事にも相手の立場を考え、相手の都合を優先して行動する人を「器の大きい人」と言います。反対に「器の小さい人」と言われる人は、常に自分の立場や都合、まず自分が得することを第一に考える人のことです。

しかし、この簡単な真理が分かっていない人が多いのです。「知っていること」と「分かっていること」とは大きく違います。知っているだけでは単なる知識です。分かっているというものは「理解している。納得している。腹に落ちている」ということです。知識から一歩進み、理解し納得し腹に落ちると実行ができます。読んで字のごとく行えば実るのです。結果現象が出るのです。

信仰も同じです。いい話を聞いて知っているだけでは知識です。「なるほど
そうか」と感動して聞いたこと知ったことを実行した時、結果即ち「ご利益」
が現れるのです。

「徳が本なり、財は末なり」と教えられます。徳の器の大きさに応じて財も
幸福も入って来ます。どれだけ働いても徳の器が小さければこぼれ出てしま
います。明治時代の天才詩人石川啄木は、生活の苦しさを憂いて、「はたらけど
はたらけど猶なほ わが生活くらし 楽にならざり ぢっと手を見る」と詠うたいました。

◇夫婦で一つの器

結婚すれば夫婦で一つの器です。安倍総理は「一億総活躍社会」を政策に掲
げ、女性が社会へ出て活躍する輝く社会を作ると謳うたっていますが、社会へ出る
ことばかりが輝くことではありません。家庭を守る中にも、子育てをする中
にも輝くことはできます。いろいろな選択肢があつていいのです。

要は社会に出ようが家庭を守ろうが喜んで働くことが大切なのです。「喜ん
で働くことが輝くこと」なのです。人偏ひとへに動くはたくと書いて「働く」です。傍はたの
人、周囲の人を楽にしてあげる、楽しくしてあげることが「働く本当の意味」です。

共働きの時代ですが、お金儲けしているだけでは貯まりません。誰かがどこかで徳の器を作り育てなければお金も幸せもこぼれ出てしまいます。

◇徳の器を大きくする方法

では徳の器を大きくするにはどうしたらいいのでしょうか！

簡単です。誰でもできます。今日からできます。でも続けるには努力が必要です。これを精進と言います。「読経供養と布施と小さな善行」の積み重ねです。

お釈迦さまも「一切のもろもろの捨てがたき財宝妻子及び国城を捨てて…頭目髓腦ずいのうじゆごと悉く人に施せり」と布施の実践を続けられて成仏即ちすべのことに感謝でき何事にも動じない大安心の境地に達せられたのです。

私たち凡夫も幸せになる第一歩は神仏とご先祖さまへの感謝の読経供養です。第二が「施し」です。「まず自分のこと」と思うのが普通ですが、勇気をもって「まず人さま」という生き方に切り替えるのです。この頃は「自分にござ褒美ほうび」が流行はやっています。施しにも順番があります。

徳の器を大きくする秘訣にも順番があります。

①朝晩欠かさず神仏とご先祖に読経供養をする。(感謝)

※神仏や恩人ご先祖に、毎日感謝の心をお通しすればご守護がかかる。

② 信仰心のない人に教えを施すこと。(法施)

※法座に誘う。聞いた教えを伝える。「ひかり」の本を差し上げる。

③ 仏事のことに徳を積ませて頂く。(財施)

※真心のお供え、例月供養など。

④ 社会のために徳を積ませて頂く。人に喜んでもらえることをする。(身施)

(ご)奉仕、明るい挨拶、ボランティア、募金などの善行)

◇ 布施と感謝は老化を防ぐ

病気の原因の多くは、慢性的な血管の炎症により血管が老化し血液循環が悪くなり、様々な病気を引き起こすのだそうです。血管が炎症を起こすのは、怒りやストレスです。血管の炎症を防ぐのは「満足感」だそうです。但し「自分にご褒美の自己満足」では効果がないそうです。

「他己満足」つまり他人を喜ばせてあげ、褒めてもらえた、喜んでもらえたという満足感に脳が反応して、血管の炎症や老化が改善するのだそうです。ここにも仏法の真理が証明されています。自信を持って実行しましょう。

今月の運勢（12月）

（2016年12月7日～1月4日）

一 白水星

年末を迎え、一年間の反省と内部の充実に重点を置く月。運勢の強い時なので、自分を過信しないように注意。周囲から見られている自覚を。攻めるより守りに徹する時である。

二 黒土星

地道な努力の成果が表れて来るので、自信をもって目標に向かって前進を続けるが良い。ただし、自信過剰になつたり、急ぎ過ぎたりすることのないように慎重な態度を保つ。

三 碧木星

多忙な年末の中に楽しみ事も多くなり、また

交際面も盛んになるの

で、金銭管理、体調管理等自分の力をよく知って、気持を引き締めて過ごすこと。計画的に事を進めて行く。

四 緑木星

順調に進んで来た道路に渋滞が発生したような状態の月。なにか思い通りにならない感じになるので、変化を起こしたいとあせつてはならない。渋滞解消まで気長に待つが一番。

五 黄土星

努力の成果が認められる人や、過去の不出来が露見する人など、各人の実績が表面化する月。印鑑や書類に注意。

感情的になって怒った

り、思慮分別を欠くと大変な状態になる。

六 白金星

運気の冷え込みが厳しい月。焦りやいら立ちを生じ易いが、心を鎮め、なに事も思い通りにしようとしなくて時期を待つ。来年の計画を練る準備期間にすれば最適な時となる。

七 赤金星

いよいよ動きが始まるが、今月は助走期間と考えた方がよい。じっくりと粘り強く努力を続けることが大きな稔りにつながる。自分の活動は陰の人の支えによって成っていること

を忘れてはならない。

八 白土星

日の出の勢いで積極的に行動の出来る月だが、調子に乗って軽率な言動や、人の反感を買うような横柄な態度をとると大失態を演ずることになるから注意。明るさを与える言葉が心がけること。

九 紫火星

なに事も順調に進んで行く福運月の年末を迎えた。意気込まず、自然体で振る舞ってれば良い方向へ進んで行く。お付き合いの範囲を広げ、人脈と自分の枠を拡大するチャンスだ。

しあわせ眼鏡

いつか来る
まっかやっか来る
たぶんその日は遠くにも
まっかいい日かやっか来る
だから…
いつもニコニコ
顔をあげて
前を向いて歩んでいく
夜の後には朝が来る
誰にでも夜明けはやっか来る
夜明け前が一番寒い

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | |
|---------------------|--|
| 【総本山真生寺】 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
TEL 058 - 235 - 7304 |
| 【所沢教会】 〒 359-0037 | 所沢市くすのき台 1-9-5
TEL 04 - 2992 - 8236 |
| 【名古屋教会】 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3-10
TEL 052 - 351 - 3904 |
| 【岐阜教会】 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3-19
TEL 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
TEL 06 - 6308 - 5637 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送り
します。詳しくはお尋ねください。